

下田メディカルセンター公的医療機関等 2025 プラン修正に係る新旧対照表

頁	修正前	修正後	修正理由
1	<p>(前略)</p> <p>病院所在地：静岡県下田市6丁目4番<u>20</u>号</p> <p>許可病床数：142床 <u>※注1</u></p> <p>(病床の種類) 一般病床 138床 <u>※注1</u>、感染症病床4床</p> <p>(病床機能別) 急性期病床 85床、地域包括ケア病床 16床 回復期病床 37床 <u>※注1</u>、感染症病床4床 <u>※注1</u> 令和2年4月1日減少後の予定病床数</p> <p>稼働病床数：<u>132</u>床 (平成30年7月1日時点)</p> <p>(病床の種類) 一般病床 <u>132</u>床、感染症病床はカウント外</p> <p>(病床機能別) 2階病棟 <u>49</u>床 3A病棟 <u>47</u>床 3B病棟 <u>36</u>床</p> <p>診療科目：内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、循環器内科、消化器内科 (15科標榜)</p> <p><u>※</u> 令和2年4月1日の予定診療科</p> <p>職員数：(平成31年4月1日現在)</p>	<p>(前略)</p> <p>病院所在地：静岡県下田市6丁目4番<u>10</u>号</p> <p>許可病床数：142床</p> <p>(病床の種類) 一般病床 138床、感染症病床4床</p> <p>(病床機能別) 急性期病床 85床、地域包括ケア病床 16床 回復期病床 37床、感染症病床4床</p> <p>稼働病床数：<u>128</u>床 (令和元年7月1日時点)</p> <p>(病床の種類) 一般病床 <u>128</u>床、感染症病床はカウント外</p> <p>(病床機能別) 2階病棟 <u>52</u>床 3A病棟 <u>45</u>床 3B病棟 <u>31</u>床</p> <p>診療科目：内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、循環器内科、消化器内科 (15科標榜)</p> <p>職員数：(令和2年4月1日現在)</p>	<p>時点修正 誤謬修正</p>

	<p>① 指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師 <u>17.4</u>人 常勤換算数 ・看護職員 <u>90.7</u>人 " ・専門職 <u>54.9</u>人 " ・事務職員 <u>34.6</u>人 " <p>② 一部事務組合 (病院開設者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者 1人 ・副管理者 1人 ・運営会議委員 4人 ・議員 12人 ・監査委員 2人 ※うち1人は議員と重複 ・事務局職員 3人 ※うち1人は臨時職員 	<p>① 指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師 <u>18.9</u>人 常勤換算数 ・看護職員 <u>95.4</u>人 " ・専門職 <u>55.8</u>人 " ・事務職員 <u>40.6</u>人 " <p>② 一部事務組合 (病院開設者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者 1人 ・副管理者 1人 ・運営会議委員 4人 ・議員 12人 ・監査委員 2人 ※うち1人は議員と重複 ・事務局職員 3人 ※うち1人は会計年度任用職員 	
8	<p>(前略)</p> <p>(ア) 許可病床数 一般病床 138 床(急性期病床 101 床、回復期病床 37 床)、 感染症病床 4 床</p> <p>※令和 2 年 4 月 1 日減床後の予定病床数</p> <p>(イ) 診療科目 内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、 皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリ テーション科、麻酔科、循環器内科、消化器内科</p>	<p>(前略)</p> <p>(ア) 許可病床数 一般病床 138 床(急性期病床 101 床、回復期病床 37 床)、 感染症病床 4 床</p> <p>(イ) 診療科目 内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、 皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリ テーション科、麻酔科、循環器内科、消化器内科</p>	時点修正

	<p>15 科標榜 ※令和2年4月1日予定診療科</p> <p>(ウ) 職員数</p> <p>医師 <u>44</u>人 (常勤 <u>14</u>人、非常勤 <u>29</u>人) 医療技術者 <u>38</u>人 (常勤 <u>33</u>人、非常勤 <u>5</u>人) 看護職員 <u>110</u>人 (常勤 <u>68</u>人、非常勤 <u>42</u>人) 事務職員 (保育士含む) <u>44</u>人 (常勤 <u>28</u>人、非常勤 <u>16</u>人) 合計 <u>235</u>人 (常勤 <u>143</u>人、非常勤 <u>92</u>人)</p>	<p>15 科標榜</p> <p>(ウ) 職員数</p> <p>医師 <u>40</u>人 (常勤 <u>13</u>人、非常勤 <u>27</u>人) 医療技術者 <u>39</u>人 (常勤 <u>37</u>人、非常勤 <u>2</u>人) 看護職員 <u>108</u>人 (常勤 <u>66</u>人、非常勤 <u>42</u>人) 事務職員 (保育士含む) <u>51</u>人 (常勤 <u>30</u>人、非常勤 <u>21</u>人) 合計 <u>238</u>人 (常勤 <u>146</u>人、非常勤 <u>92</u>人)</p>																																																																																													
9	<p>(ア) 入院</p> <table border="1" data-bbox="315 762 1039 1059"> <thead> <tr> <th></th> <th>延患者数</th> <th>診療日数</th> <th>1日平均患者数</th> <th>病床利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td><u>25,723</u>人</td> <td><u>365</u>日</td> <td><u>70.5</u>人</td> <td><u>47.0%</u></td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td><u>25,355</u>人</td> <td><u>365</u>日</td> <td><u>69.3</u>人</td> <td><u>46.2%</u></td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td><u>30,528</u>人</td> <td><u>365</u>日</td> <td><u>83.6</u>人</td> <td><u>57.3%</u></td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td><u>31,949</u>人</td> <td><u>365</u>日</td> <td><u>87.5</u>人</td> <td><u>60.0%</u></td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td><u>30,879</u>人</td> <td><u>365</u>日</td> <td><u>84.6</u>人</td> <td><u>60.4%</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 外来</p> <table border="1" data-bbox="315 1158 896 1353"> <thead> <tr> <th></th> <th>延患者数</th> <th>診療日数</th> <th>1日平均患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td><u>54,007</u>人</td> <td><u>293</u>日</td> <td><u>184.3</u>人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td><u>55,764</u>人</td> <td><u>295</u>日</td> <td><u>189.0</u>人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td><u>62,453</u>人</td> <td><u>294</u>日</td> <td><u>212.4</u>人</td> </tr> </tbody> </table>		延患者数	診療日数	1日平均患者数	病床利用率	平成26年度	<u>25,723</u> 人	<u>365</u> 日	<u>70.5</u> 人	<u>47.0%</u>	平成27年度	<u>25,355</u> 人	<u>365</u> 日	<u>69.3</u> 人	<u>46.2%</u>	平成28年度	<u>30,528</u> 人	<u>365</u> 日	<u>83.6</u> 人	<u>57.3%</u>	平成29年度	<u>31,949</u> 人	<u>365</u> 日	<u>87.5</u> 人	<u>60.0%</u>	平成30年度	<u>30,879</u> 人	<u>365</u> 日	<u>84.6</u> 人	<u>60.4%</u>		延患者数	診療日数	1日平均患者数	平成26年度	<u>54,007</u> 人	<u>293</u> 日	<u>184.3</u> 人	平成27年度	<u>55,764</u> 人	<u>295</u> 日	<u>189.0</u> 人	平成28年度	<u>62,453</u> 人	<u>294</u> 日	<u>212.4</u> 人	<p>(ア) 入院</p> <table border="1" data-bbox="1070 762 1794 1059"> <thead> <tr> <th></th> <th>延患者数</th> <th>診療日数</th> <th>1日平均患者数</th> <th>病床利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td><u>25,355</u>人</td> <td><u>365</u>日</td> <td><u>69.3</u>人</td> <td><u>46.2%</u></td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td><u>30,528</u>人</td> <td><u>365</u>日</td> <td><u>83.6</u>人</td> <td><u>57.3%</u></td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td><u>31,949</u>人</td> <td><u>365</u>日</td> <td><u>87.5</u>人</td> <td><u>60.0%</u></td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td><u>30,879</u>人</td> <td><u>365</u>日</td> <td><u>84.6</u>人</td> <td><u>60.4%</u></td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td><u>34,137</u>人</td> <td><u>366</u>日</td> <td><u>93.3</u>人</td> <td><u>66.6%</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 外来</p> <table border="1" data-bbox="1070 1158 1650 1353"> <thead> <tr> <th></th> <th>延患者数</th> <th>診療日数</th> <th>1日平均患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td><u>55,764</u>人</td> <td><u>295</u>日</td> <td><u>189.0</u>人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td><u>62,453</u>人</td> <td><u>294</u>日</td> <td><u>212.4</u>人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td><u>67,502</u>人</td> <td><u>294</u>日</td> <td><u>229.6</u>人</td> </tr> </tbody> </table>		延患者数	診療日数	1日平均患者数	病床利用率	平成27年度	<u>25,355</u> 人	<u>365</u> 日	<u>69.3</u> 人	<u>46.2%</u>	平成28年度	<u>30,528</u> 人	<u>365</u> 日	<u>83.6</u> 人	<u>57.3%</u>	平成29年度	<u>31,949</u> 人	<u>365</u> 日	<u>87.5</u> 人	<u>60.0%</u>	平成30年度	<u>30,879</u> 人	<u>365</u> 日	<u>84.6</u> 人	<u>60.4%</u>	令和元年度	<u>34,137</u> 人	<u>366</u> 日	<u>93.3</u> 人	<u>66.6%</u>		延患者数	診療日数	1日平均患者数	平成27年度	<u>55,764</u> 人	<u>295</u> 日	<u>189.0</u> 人	平成28年度	<u>62,453</u> 人	<u>294</u> 日	<u>212.4</u> 人	平成29年度	<u>67,502</u> 人	<u>294</u> 日	<u>229.6</u> 人	時点修正
	延患者数	診療日数	1日平均患者数	病床利用率																																																																																											
平成26年度	<u>25,723</u> 人	<u>365</u> 日	<u>70.5</u> 人	<u>47.0%</u>																																																																																											
平成27年度	<u>25,355</u> 人	<u>365</u> 日	<u>69.3</u> 人	<u>46.2%</u>																																																																																											
平成28年度	<u>30,528</u> 人	<u>365</u> 日	<u>83.6</u> 人	<u>57.3%</u>																																																																																											
平成29年度	<u>31,949</u> 人	<u>365</u> 日	<u>87.5</u> 人	<u>60.0%</u>																																																																																											
平成30年度	<u>30,879</u> 人	<u>365</u> 日	<u>84.6</u> 人	<u>60.4%</u>																																																																																											
	延患者数	診療日数	1日平均患者数																																																																																												
平成26年度	<u>54,007</u> 人	<u>293</u> 日	<u>184.3</u> 人																																																																																												
平成27年度	<u>55,764</u> 人	<u>295</u> 日	<u>189.0</u> 人																																																																																												
平成28年度	<u>62,453</u> 人	<u>294</u> 日	<u>212.4</u> 人																																																																																												
	延患者数	診療日数	1日平均患者数	病床利用率																																																																																											
平成27年度	<u>25,355</u> 人	<u>365</u> 日	<u>69.3</u> 人	<u>46.2%</u>																																																																																											
平成28年度	<u>30,528</u> 人	<u>365</u> 日	<u>83.6</u> 人	<u>57.3%</u>																																																																																											
平成29年度	<u>31,949</u> 人	<u>365</u> 日	<u>87.5</u> 人	<u>60.0%</u>																																																																																											
平成30年度	<u>30,879</u> 人	<u>365</u> 日	<u>84.6</u> 人	<u>60.4%</u>																																																																																											
令和元年度	<u>34,137</u> 人	<u>366</u> 日	<u>93.3</u> 人	<u>66.6%</u>																																																																																											
	延患者数	診療日数	1日平均患者数																																																																																												
平成27年度	<u>55,764</u> 人	<u>295</u> 日	<u>189.0</u> 人																																																																																												
平成28年度	<u>62,453</u> 人	<u>294</u> 日	<u>212.4</u> 人																																																																																												
平成29年度	<u>67,502</u> 人	<u>294</u> 日	<u>229.6</u> 人																																																																																												

	平成 29 年度	67,502 人	294 日	229.6 人		平成 30 年度	64,801 人	293 日	232.7 人	
	平成 30 年度	64,801 人	293 日	232.7 人		令和元年度	70,844 人	292 日	242.6 人	
	(ウ) 救急					(ウ) 救急				
		救急患者数	うち救急搬送件数				救急患者数	うち救急搬送件数		
			時間内	時間外	小計			時間内	時間外	小計
	平成 26 年度	3,441 人	444 人	778 人	1,222 人	平成 27 年度	2,959 人	384 人	665 人	1,049 人
	平成 27 年度	2,959 人	384 人	665 人	1,049 人	平成 28 年度	3,368 人	477 人	750 人	1,227 人
	平成 28 年度	3,368 人	477 人	750 人	1,227 人	平成 29 年度	3,906 人	530 人	770 人	1,300 人
	平成 29 年度	3,906 人	530 人	770 人	1,300 人	平成 30 年度	3,690 人	545 人	746 人	1,291 人
	平成 30 年度	3,690 人	545 人	746 人	1,291 人	令和元年度	3,718 人	576 人	857 人	1,433 人
附属みなとクリニック					附属みなとクリニック					
(イ) 外来					(イ) 外来					
	延患者数	診療日数	1 日平均患者数			延患者数	診療日数	1 日平均患者数		
平成 26 年度	1,221 人	238 日	5.1 人		平成 27 年度	1,028 人	236 日	4.4 人		
平成 27 年度	1,028 人	236 日	4.4 人		平成 28 年度	912 人	234 日	3.9 人		
平成 28 年度	912 人	234 日	3.9 人		平成 29 年度	930 人	234 日	4.0 人		
平成 29 年度	930 人	234 日	4.0 人		平成 30 年度	936 人	209 日	4.5 人		
平成 30 年度	936 人	209 日	4.5 人		令和元年度	888 人	206 日	4.3 人		
10	3 自施設の特徴 下田メディカルセンター（以下「当病院」という。）は、 賀茂圏域における地域完結型の急性期医療を担うことを 使命として、平成 24 年 5 月に南伊豆町の共立湊病院より				3 自施設の特徴 下田メディカルセンター（以下「当病院」という。）は、 賀茂圏域における地域完結型の急性期医療を担うことを 使命として、平成 24 年 5 月に南伊豆町の共立湊病院より				時点修正 字句修正	

<p>移転して開院しました。外来診療科にあつては、<u>16</u>診療科を標榜しています。</p> <p>入院診療については、開院当時は許可病床数 154 床のうち感染症病床 4 床を除く 150 床（3 病棟）全てが急性期病床でした。その後、二か年にわたる受療動向を分析した結果、急性期病床のニーズがさほど見込めない一方で、当圏域において回復期病床を充足できていないことが判明したことにより、平成 25 年 10 月に 49 床を回復期リハビリ病棟に転換して運用を開始しました。また、急性期を脱した後の在宅までの療養や、自宅療養中に症状が一過的に悪化した患者さん等から、地域包括ケア病床の機能強化を求めるニーズも明らかとなってきたため、平成 28 年 4 月からは急性期病床のうち 12 床を地域包括ケア病床に転換し、さらに同年 9 月から 4 床を追加転換して、現在 16 床での運用となっています。また患者公平性の観点から、回復期病床の 5 床部屋解消を理由として、平成 28 年 4 月 1 日に回復期病床を 4 床減少し、外来による化学療法室の必要性から平成 30 年 4 月 1 日に 6 床を減少・転換して、<u>現在 39 床で運用していますが、さらに 2 床を減少させ言語聴覚室に転換を図る計画を現在進めています。</u></p>	<p>移転して開院しました。外来診療科にあつては、<u>15</u>診療科を標榜しています。</p> <p>入院診療については、開院当時は許可病床数 154 床のうち感染症病床 4 床を除く 150 床（3 病棟）全てが急性期病床でした。その後、二か年にわたる受療動向を分析した結果、急性期病床のニーズがさほど見込めない一方で、当圏域において回復期病床を充足できていないことが判明したことにより、平成 25 年 10 月に 49 床を回復期リハビリ病棟に転換して運用を開始しました。また、急性期を脱した後の在宅までの療養や、自宅療養中に症状が一過的に悪化した患者さん等から、地域包括ケア病床の機能強化を求めるニーズも明らかとなってきたため、平成 28 年 4 月からは急性期病床のうち 12 床を地域包括ケア病床に転換し、さらに同年 9 月から 4 床を追加転換して、現在 16 床での運用となっています。また患者公平性の観点から、回復期病床の 5 床部屋解消を理由として、平成 28 年 4 月 1 日に回復期病床を 4 床減少し、外来による化学療法室の必要性から平成 30 年 4 月 1 日に 2 室 6 床を減少・転換し、<u>令和 2 年 4 月 1 日に言語聴覚室へ 1 室 2 床を減少・転換したことで、現在、回復期病棟は 37 床で運用していますが、さらに 1 室 4 床を減少させ、在宅復帰のリハビリに必要な ADL（機能訓練）室へ転換を図る計画を進めています。</u></p>	
---	--	--

<p>(中略)</p> <p>公立病院である当病院に課せられた最も重要な使命が救急医療で、すなわち急性期医療を主眼に置かなければなりません、救急医療に限らず、圏域で不足する医療機能を可能な限り補填することも公立病院の使命であるとの認識の下、回復期機能や地域包括ケア機能を併せもつ病院として運営しています。今後、地域で慢性期機能の不足がより明瞭になった場合には、慢性期機能を保持することも将来的な選択支の一つとして検討していく必要があります。</p> <p>(中略)</p> <p>ア 7大疾病</p> <p>現状の当病院の規模、地域の患者数、医療提供体制等の要因により、7疾病全ての医療を当病院単独で賄うことは不可能と言わざるを得ません。7疾病に関する医療のうち、当病院で実施できる分野の拡大に努め、対応不可能な領域については順天堂大学医学部附属静岡病院（以下「順天堂病院」という。）等の高度医療機関に適時・適切に搬送するための連携体制を、<u>令和2年4月1日から新たに稼働する地域医療ネットワーク基盤システムを活用して、より堅固なものとしていくことを基本方針としています。</u></p>	<p>(中略)</p> <p>公立病院である当病院に課せられた最も重要な使命が救急医療で、すなわち急性期医療を主眼に置かなければなりません、救急医療に限らず、圏域で不足する医療機能を可能な限り補填することも公立病院の使命であるとの認識の下、回復期機能や地域包括ケア機能を併せもつ病院として運営しています。今後、地域で慢性期機能の不足がより明瞭になった場合には、慢性期機能を保持することも将来的な選択肢の一つとして検討していく必要があります。</p> <p>(中略)</p> <p>ア 7大疾病</p> <p>現状の当病院の規模、地域の患者数、医療提供体制等の要因により、7疾病全ての医療を当病院単独で賄うことは不可能と言わざるを得ません。7疾病に関する医療のうち、当病院で実施できる分野の拡大に努め、対応不可能な領域については順天堂大学医学部附属静岡病院（以下「順天堂病院」という。）等の高度医療機関に適時・適切に搬送するための連携体制を、より堅固なものとしていくことを基本方針としています。</p>	
--	--	--

	(中略)	(中略)	
14	<p>国が目指す地域包括ケアシステムの充実のためには、自治体、歯科診療所、薬局、介護関係機関等、多職種での連携が必須であり、圏域では当病院の在宅医療介護連携推進支援センターが連携の推進役を担っています。センター事業も<u>4</u>年目に入り、その活動は順調に進捗しています。</p> <p>③ 下田メディカルセンターの課題</p> <p>当病院は、平成24年5月の移転新築以降、平成28年度に入り外来患者及び入院患者とも増加傾向を示しているものの、依然として病床利用率は「<u>3年間連続して70%未満の病院</u>」に該当したことを踏まえ、今後においても現在の増加傾向を継続できるよう、さらなる改善努力が重要事項となっています。</p> <p>圏域内の伊豆今井浜病院では開院時の病床を増床し、康心会伊豆東部病院でも増床を前提とした新築工事が完了するなど、<u>今後における病床利用率の下降が懸念される状況</u>にあります。</p> <p>(中略)</p>	<p>国が目指す地域包括ケアシステムの充実のためには、自治体、歯科診療所、薬局、介護関係機関等、多職種での連携が必須であり、圏域では当病院の在宅医療介護連携推進支援センターが連携の推進役を担っています。センター事業も<u>5</u>年目に入り、その活動は順調に進捗しています。</p> <p>③ 下田メディカルセンターの課題</p> <p>当病院は、平成24年5月の移転から現在に至るまで、「<u>病床利用率70%の確保</u>」を一度も達成できていない。平成28年度以降は、改善傾向に転じたものの、さらなる改善努力が重要事項となっています。</p> <p>伊豆今井浜病院では開院時の病床を増床し、康心会伊豆東部病院でも増床を前提とした新築工事が完了するなど、<u>圏域内の病床過剰は極めて顕著であり、競合する病院相互での病床利用率の下降が懸念される状況</u>にあります。</p> <p>(中略)</p>	<p>字句修正 時点修正</p>

<p>経営状況に目を転じますと、病院開設者である組合の病院事業会計は、<u>平成 30 年度決算</u>で約 <u>19,546</u> 千円の純損失が発生しています。</p> <p>(中略)</p> <p>一方、指定管理者の<u>病院事業会計</u>は、<u>平成 30 年度決算</u>で約 <u>131,609</u> 千円の純利益となり、<u>累積欠損金の解消も令和元年度決算で解消できるものと見込んでいます。</u></p> <p>開業医の閉院等に伴う下田メディカルセンターへの患者流入数の増加により、指定管理者の収支バランスは改善してきており、今後は黒字化が続くと見込まれているものの、<u>事業会計収支</u>は診療体制や受診動向に左右されやすく、不安定な状況が続くことも予想されます。</p> <p>(後略)</p>	<p>経営状況に目を転じますと、病院開設者である組合の病院事業会計は、<u>令和元年度決算</u>で約 <u>26,012</u> 千円の純損失が発生しています。</p> <p>(中略)</p> <p>一方、指定管理者の<u>事業収支</u>は、<u>令和元年度決算</u>で約 <u>172,957</u> 千円の税引き前での純利益となりました。</p> <p>開業医の閉院等に伴う下田メディカルセンターへの患者流入数の増加により、指定管理者の収支バランスは改善してきており、今後は黒字化が続くと見込まれているものの、<u>事業収支</u>は診療体制や受診動向に左右されやすく、不安定な状況が続くことも予想されます。</p> <p>(後略)</p>	
--	---	--

15	<p>(前略)</p> <p>イ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 当病院は、平成 26・27 年度にかけて、静岡県が進める在宅医療連携拠点事業に応募し、協議会組織を立ち上げ、<u>他</u>職種協働による在宅医療の支援体制の構築、包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指す活動を行ってきました。</p>	<p>(前略)</p> <p>イ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 当病院は、平成 26・27 年度にかけて、静岡県が進める在宅医療連携拠点事業に応募し、協議会組織を立ち上げ、<u>多</u>職種協働による在宅医療の支援体制の構築、包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指す活動を行ってきました。</p>	誤謬修正
----	---	---	------

16	<p>(前略)</p> <p><今後の方針></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現在 (平成30年度病床機能報告)</th> <th></th> <th>将来 (2025年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>—</td> <td rowspan="5">→</td> <td rowspan="2">予定なし</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>101床(うち地域包括16床)</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>39床</td> <td>37床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>—</td> <td>予定なし</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>144床(うち感染症4床)</td> <td>142床(うち感染症4床)</td> </tr> </tbody> </table> <p>方針・<u>3階の回復期病床1室2床を、言語聴覚室に転換を図り、必要とされるリハビリ治療の充実を図ることを目的とする</u></p> <p>計画・<u>令和2年組合議会2月定例会において条例改正議決の後、賀茂地域医療構想調整会議で報告し、使用許可申請手続き等を経て令和2年4月1日運用開始を予定</u></p> <p>(後略)</p>		現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)	高度急性期	—	→	予定なし	急性期	101床(うち地域包括16床)	回復期	39床	37床	慢性期	—	予定なし	(合計)	144床(うち感染症4床)	142床(うち感染症4床)	<p>(前略)</p> <p><今後の方針></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現在 (2021年度病床機能報告)</th> <th></th> <th>将来 (2025年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>—</td> <td rowspan="5">→</td> <td rowspan="2">予定なし</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>101床(うち地域包括16床)</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>37床</td> <td>33床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>—</td> <td>予定なし</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>142床(うち感染症4床)</td> <td>138床(うち感染症4床)</td> </tr> </tbody> </table> <p>方針・<u>3階の回復期病床1室4床を、ADL(機能訓練)室に転換を図り、在宅復帰に必要なリハビリ体制の充実を図ることを目的とする</u></p> <p>計画・<u>賀茂地域医療構想調整会議での審議を経て、条例改正案を組合議会へ提出予定</u></p> <p>(後略)</p>		現在 (2021年度病床機能報告)		将来 (2025年度)	高度急性期	—	→	予定なし	急性期	101床(うち地域包括16床)	回復期	37床	33床	慢性期	—	予定なし	(合計)	142床(うち感染症4床)	138床(うち感染症4床)	<p>時点修正 字句修正</p>
		現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)																																					
高度急性期	—	→	予定なし																																						
急性期	101床(うち地域包括16床)																																								
回復期	39床		37床																																						
慢性期	—		予定なし																																						
(合計)	144床(うち感染症4床)		142床(うち感染症4床)																																						
	現在 (2021年度病床機能報告)		将来 (2025年度)																																						
高度急性期	—	→	予定なし																																						
急性期	101床(うち地域包括16床)																																								
回復期	37床		33床																																						
慢性期	—		予定なし																																						
(合計)	142床(うち感染症4床)		138床(うち感染症4床)																																						

② 診療科の見直しについて

<今後の方針>

	現在 (本プラン策 定時)		将来 (2025 年度)
維持	(16 診療科)	→	左記のうち 神経内科を 廃止予定
新設	内科、外科、整		
廃止	形外科、小児		
変更・ 統合	科、眼科、耳鼻 咽喉科、麻酔 科、脳神経外 科、皮膚科、婦 人科、形成外 科、泌尿器科、 リハビリテー ション科、消化 器内科、循環器 内科、神経内科		

② 診療科の見直しについて

<今後の方針>

	現在 (本プラン策 定時)		将来 (2025 年度)
維持	(15 診療科)	→	予定なし
新設	内科、外科、整		
廃止	形外科、小児		
変更・ 統合	科、眼科、耳鼻 咽喉科、麻酔 科、脳神経外 科、皮膚科、婦 人科、形成外 科、泌尿器科、 リハビリテー ション科、消化 器内科、循環器 内科		

20	<p>(前略)</p> <p>う 高度医療に対応した施設・設備の整備</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○主な取組</p> <p>①電子カルテシステムの有効活用、②計画的な医療機器の導入と更新、</p> <p>③ D P Cの導入 ※平成30年度実施は見送り、平成32年度実施を再検討</p> </div>	<p>(前略)</p> <p>う 高度医療に対応した施設・設備の整備</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○主な取組</p> <p>①電子カルテシステムの有効活用、②計画的な医療機器の導入と更新、</p> <p>③ D P Cの導入 ※令和2年度実施は見送り、令和4年度実施を再検討</p> </div>	
----	--	--	--